

# 履 歴 書

令和 6 年 5 月 1 日現在

公募・在職者用

フリガナ	タチバナ ハナコ	サインまたは捺印	写真貼付 1. 縦4cm×横3cm 2. 上半身 3. 最近3ヶ月以内に撮影したもの
氏名 (教育研究で使用する氏名)	橘 花子		
英字	TACHIBANA Hanako		
<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成	51 年 4 月 30 日生 (満 48 歳)	性別 男・ <input checked="" type="checkbox"/> 女	

## 1. 学歴

(高等学校卒業より記入)

年 月(和暦)	学 校・学 部・学 科・専 攻 名
平成〇年〇月	東京都立〇〇〇〇高等学校 卒業
平成〇年〇月	〇〇大学〇〇部〇〇科 入学
平成〇年〇月	〇〇大学〇〇部〇〇科 卒業
平成〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程 入学
平成〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程 修了
平成〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士後期課程 入学
平成〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士後期課程 単位取得満期退学

## 2. 学位(学士より記入)

学位名	取得年月日 (和暦)	取得大学・機関	論文題目
学士 (〇〇学)	平成〇年〇月〇日	〇〇大学	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
修士 (〇〇学)	平成〇年〇月〇日	〇〇大学	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
博士 (〇〇学)	令和△年△月△日	〇〇大学	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇



## 5. 賞罰

年 月 日(和暦)	内 容・機 関 等
平成〇年〇月〇日	平成〇年度日本〇〇学会研究奨励賞

## 6. 学会活動および社会的活動

年 月 ～ 年 月(和暦)	学会・団体の機関名, 役職名等
(学会活動)	
平成〇年 4 月～現在に至る	日本〇〇〇〇学会会員
平成〇年 4 月～平成〇年〇月	日本〇〇〇〇学会会員
平成〇年 4 月～現在に至る	〇〇〇〇会会員 同理事
平成〇年 4 月～現在に至る	日本〇〇〇〇〇学会会員
平成〇年 7 月～現在に至る	〇〇〇〇学会会員 〇〇学会誌『〇〇学研究』編集委員
平成〇年 5 月～現在に至る	〇〇〇〇〇〇研究会会員
平成〇年 2 月～現在に至る	〇〇〇〇〇〇〇学会会員
(社会的活動)	
平成〇年 4 月～現在に至る	〇〇市〇〇審議会委員
平成〇年 4 月～平成〇年〇月	〇〇講座講師

## 7. 研究業績

著書・論文・学会発表等の別	題 名	発行又は発表年月(和暦)	発行所又は発表場所	掲載書・誌名等
<著書> (単著)	〇〇〇〇入門	平成〇年〇月	〇〇出版	全 500 ページ
(共著)	第 1 章 総合学習のためのポートフォリオ評価、第 5 章 e ポートフォリオの実践と課題 (〇〇、〇〇著 学習ポートフォリオが促す新しい学び)	平成〇年〇月	〇〇書店	2-35, 254-284
(共同執筆)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇社	全 500 ページ
(共編著)	第 2 章 産業カウンセリングの過程と技法 (〇〇、〇〇、〇〇編著 産業カウンセリング入門)	平成〇年〇月	〇〇書房	61-72
(分担執筆)	理想の学校を実現するには (〇〇〇〇編 「本当の生きる力」を与える教育とは)	平成〇年〇月	〇〇社	233-270
<論文> (単著)	【査読付】小学生の学校での意欲に関する研究	平成〇年〇月	〇〇研究会	Journal of 〇〇〇〇, 16, 5-11
(共著*)	母親面接に教師が同席することの意義	平成〇年〇月	〇〇学会	〇〇学研究, 66, 14-20
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇学会	〇〇〇誌, 87, 2-10
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(共著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(共著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(共著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(共著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
(単著)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
<翻訳> (単独訳)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇出版	
(共訳)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇社	
<報告書> (共同)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇委員会	1993 年度〇〇〇〇研究費報告書

<学会発表> ・ポスター発表 (単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○大学	第 55 回○○○○学 会
(共同*)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○大学	第 10 回○○○○学 会
(単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○大学	第 25 回○○○○学 会
(単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○大学	第 43 回○○○○学 会
(共同)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○	○○○
<学会発表> ・口頭発表 (単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○大学	第 55 回○○○○学 会
(単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○	○○○
(単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○	○○○
(単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○	○○○
(単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○	○○○
(共同)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	Boston	IX International Congress of Psychology.
<科研費> (共同)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 基盤(C) 課題番号○○○ 配分額 1,000,000 円 表○○ (○○大学)	平成 25 年 4 月～ 平成 27 年 3 月	日本学術振 興会	
(単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 若手(B) 課題番号○○○ 配分額 1,000,000 円	平成 20 年 4 月～ 平成 24 年 3 月	日本学術振 興会	
外部資金受給実 績	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○(20,000,000 円)	平成○年度	○○財団	

※行が足りない場合は追加してください。